

～楽しい時間のために使ったお金が、別の場所で大きな力になる～

NGO ゴスペル広場 (GQファミリー) 2019年 国際協カレポート

たくさんのご協力
ありがとう
ございました!!

2019年 支援総額 ¥4,926,644 (寄付 ¥3,750,829 + フェアトレード企画 ¥1,175,815)

2008年～2019年 累計総額 ¥34,403,172 (寄付 ¥30,616,292 + フェアトレード企画 ¥3,786,880)

※フェアトレード企画：支援の一環として、私たちがデザインしたものを支援地の人々が制作。
スリランカのローブヤストール、フィリピンのシェルピアスがこれに当たり、「買い取り代金」を計上しています。

内訳

■ GQ 会費	¥800,000	■ チームこにたんから寄付	¥82,400
■ Sunnyside 会費 (全拠点)	¥1,967,400	■ GQ アート部 (コンサート時の¥133,701はコンサート観に含む)	¥54,775
■ Neverland 会費 (全拠点)	¥28,800	■ フィリピン フェアトレード	¥160,315
■ 合同コンサート (GP)	¥735,752	■ スリランカ フェアトレード	¥1,015,500
■ GQ 内個人寄付など	¥81,702		

※Sunnyside 会費内には、掲載の7団体に含まれない横浜の独自支援 (Free the Children へ ¥48,000) を含みます。
※上記とは別に国内支援として、横浜から10団体へ計 ¥159,112、長野から台風19号災害義援金へ5万円の寄付がありました。
※2019年5月発売の「Just Stand」CD売上からのジンバブエへの寄付は、2020年に実施予定です。

Project Report

1 スリランカ 裁縫センタープロジェクト (提携：特定非営利活動法人ナダア)

送金総額 ¥1,374,237

内訳

■ GQ 会費	¥200,000
■ 合同コンサート	¥158,737
■ ローブ 149 着	¥358,000
■ 三重 & 名古屋 オリジナル衣装 263 着	¥657,500

GQ の支援で 2008 年にトリコマリーにオープンした、女性の職業訓練のための裁縫センター。昨年は、例年のローブのほか、三重 & 名古屋で独自のデザインの衣装を発注するという新しい支援が行われました (①)。これらの注文は、制作者の貴重な収入源となっています。

また昨年は、ムドゥールという場所に2か所目の裁縫センターをオープンし、新たに現地の女性5人を採用するという大きな展開がありました (②)。設備として、ミシン6台や諸々の道具の購入にも寄付が使われました。この新しいセンターでは、米や豆を入れる麻袋をリサイクルし、エコバッグを作っていく予定です。そのバッグを近隣のお店に無料配布して使ってもらおうキャンペーンも、寄付金から実施予定です。



Project Report

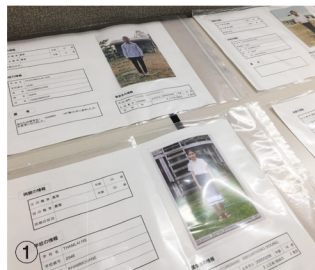
2 カンボジア、ラオス他 奨学金プロジェクト (提携：公益財団法人 民際センター)

送金総額 ¥2,267,794

内訳

■ GQ 会費	¥200,000
■ Sunnyside 会費	¥1,871,400
■ Neverland 会費	¥28,800
■ 合同コンサート	¥135,194
■ チームこにたんより	¥32,400

「貧しさ」と共に、「勉強に対する熱意」を選考基準としているダルニー奨学金。2017年、2018年と実施したカンボジアツアーでは、日本では見たことのないほど小さくて何もない (電気もガスもトイレも無い) 家をいくつも訪問し、この奨学金がどれほど奨学生の家族に希望を与えているか、実感することができました。今回はサニーからの支援が大幅に増加し、2018年の99人から45人も増え、144人の奨学生を支えることができました (①)。



GQファミリー奨学生数 (2019年度)

カンボジア：133人 タイ：4人 ラオス：6人
(31人の奨学生が2018年度で中学を卒業しました!)

合計 143人

Project Report

3 ネパール 復興支援プロジェクト (提携：特定非営利活動法人 ChildFund Japan)

送金総額 ¥283,334

内訳

■ GQ 会費	¥100,000
■ 合同コンサート	¥135,334
■ Sunnyside 横浜会費 (スポンサーシップ) ※横浜独自の支援	¥48,000

2015年4月に起きたネパール大地震は、チャイルド・ファンド・ジャパンの支援事業地であるシンドゥバルチョーク郡を直撃し、学校施設は547校が全半壊するなど、子どもたちの教育に大きな影響を与えました。地震から4年以上が経った今も、まだ支援を必要としている学校があります。GQファミリーが支援する「災害に強い学校づくりプロジェクト」では、2019年に新たに1校を再建し、ネパール政府が設定した、新しい耐震基準を満たす安全な校舎を建設しています (①②)。また、先生や学校運営委員会のメンバーなどを対象とした防災教育の研修や、学校防災計画の作成など、災害に強い学校づくりを進めています。



Project Report

4 セネガル 小中学校支援プロジェクト (提携：バオバブの会)

送金総額 ¥331,363

内訳

■ GQ 会費	¥200,000
■ 合同コンサート	¥131,363

日本在住のセネガル人、マサンバさんが代表を務めるバオバブの会を支援しています。2019年はバオバブの会から、小学校9校、中学校2校、イスラム系学校4校、聾唖学校1校の計16校と、1つの保育園に寄付金が送られました。各校は、校舎の補修や教材の購入など、それぞれのニーズに合わせて寄付金を使っています。

また、共同作業力の醸成や学校と地域をつなぐきっかけとして、「運動会」を小学校で実現させたいと、8校の先生たちにワークショップが行われました (①)。



Project Report

5 バングラデシュ ミャンマー避難民への支援プロジェクト (提携：認定NPO法人 難民を助ける会 (AAR Japan))

送金総額 ¥238,887

内訳

■ GQ 会費	¥100,000
■ GQ10周年 コンサート	¥138,887

2017年に「21世紀最悪の虐殺」とNewsweekでも報じられた、ロヒンギヤの人々への迫害。ミャンマーから逃れた避難民91万人以上が暮らす、バングラデシュ南東部コックスバザール県の避難民キャンプを支援しています。避難生活が長期化する中、家庭内暴力や虐待も増えており、また、「キャンプの外や外国で割のいい仕事がある」などと持ち掛けて女性や子どもをだます人身売買業者も現れています。AAR Japanでは、そうした環境から女性や子供を守るため、4つのフレンドリースペースを開設、運営しています (①)。この他、2019年はトイレ64基、井戸24本、水浴び室58か所、し尿処理施設2か所を建設。このような活動に私たちの寄付が使われています。



Project Report

6 セブ島 (フィリピン) シェルピアス & 奨学金プロジェクト (GQファミリー独自企画)

送金総額 ¥296,792

内訳

■ シェルピアス企画	¥160,315
■ GQ アート部	¥54,775
■ GQ内個人寄付など	¥81,702

リゾート開発で海の汚染が進み、漁業では生計を立てられなくなってしまった貧しい集落を支援しています。シェルピアスのフェアトレードは、昨年は7回の発注が実現、計574個を買取りました。2018年の975個より数は減りましたが、昨年は質の向上を目指し、注文個数を抑えてフィードバックによる指導を強化しました。

また、GQアート部と個人寄付を合わせ、2019年もこの集落の30人の子どもたちに奨学金を送ることができました (①)。年末には、子どもたちのためのクリスマスパーティー資金 ¥35,202 を、募金によって寄付しました (②)。



Project Report

7 ジンバブエ 教科書寄贈プロジェクト (提携：ジンバブエ友の会)

送金総額 ¥86,237

内訳

■ 合同コンサート	¥36,237
■ チームこにたんから寄付	¥50,000

GQシンガーズの一人、アンドリューの出身国を支援する、「ジンバブエ友の会」とのつながりができました! 2018年末にGQスタッフとサニー長野有志で、長野に住む代表の林本久美子さんを訪問 (①)。2000冊もの教科書を小学校に寄贈してきた林本さんから、活動のお話を伺いました (②)。2019年5月に発売したCD「Just Stand」からの寄付は、2020年送金予定です。
※寄付金からの教科書購入はこれからなので、冊数などは後日レポートいたします。

